

多様な才能 輝け高校生



全国の高校生が集い、華々しいステージで幕を開けたあきた総文の総合開会式＝秋田市のあきた芸術劇場ミルハス

芸術文化活動に励む全国の高校生が一堂に会する第50回全国高校総合文化祭（あきた総文）が26日、開幕した。約3千校、約2万人の高校生が参加し、8月1日までの7日間、県内8市を会場に演劇、美術・工芸、郷土芸能などの部門で発表や競技、展示を行う。

■関連記事24、25面

あきた総文、華々しく開幕



パレードを先導した秋田県合同マーチングバンド＝秋田市の広小路

秋田市のあきた芸術劇場ミルハスに秋篠宮夫妻を迎えて開かれた総合開会式は、秋田高校吹奏楽部によるファンファーレで華々しく幕開け。ステージでは県内の高校生がマハゲや豊かな自然が移りゆく秋田の四季を音楽や映像、朗読で表現した。鈴木健太知事は「互いの多様性を認め合い、心を通わせるために皆さんが生み出す芸術の力は、社会を照らす希望の光となる」とあいさつ。秋篠宮さまは50回の節目の開催に触れ、「黄金色に輝く稲穂のごとく多様な才能を実らせ、飛躍していくことを期待します」と述べられた。生徒実行委員長の鎌田理仁さん（秋田3年）は「参加する高校生にとっても運営に携わる私たちにとってもかけがえのない財産になる。秋田でしか出せない感動や忘れられないひとときの体験を存分に味わってほしい」と呼びかけた。

式後、市中心部の広小路でパレードが行われ、秋田竿燈まつりの演技に加え、マーチングやバントフライングのパフォーマンスで迫道を華やかに彩った。

本県での開催は1981年の第5回大会以来45年ぶり。文化庁、全国高校文化連盟、県などの主催。

（武田裕子、北嶋彩佳、大久保瑠衣、嶋崎宏樹）

さきがけ動画



©秋田魁新報社